

敬老事業見直しの開始について

議案 番号	44	資料 番号	1
長寿福祉課			

1. 事業見直しの背景

本市の敬老会事業は、長年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に感謝し、その長寿を祝うとともに地域の中で支えあう安心のまちづくりを推進することを目的に、運営団体15団体に事業を委託して実施しています。

少子高齢化が進み、主催者自身が高齢化されていることや敬老会対象者が年々増加していること、コロナ禍により従来の式典・会食という開催ができない状況が続いてきたことから、県内はじめ多くの自治体において敬老事業の在り方について見直す動きが見受けられています。

本市におきましても、今年度開催に向け運営団体への意向を確認したところ、各地区の運営団体役員の担い手不足や参加者数の低迷のほか、コロナ感染リスクを懸念する声が聞かれるなど、これまでどおりの画一的な開催が困難な状況にあります。

■ 現行事業への主な意見等

現行事業への主な意見
スタッフの高齢化、担い手不足
参加率が低い（2割程度）
開催による高齢者の感染が心配
（全ての団体から）お祝いクーポンが良い
見直しにあたっての検討課題
各団体で意向が異なるため、市の画一的な委託が困難
敬老事業全体を考慮した見直しが必要であるため、関係者との調整等に時間が必要

■ 近隣自治体の開催状況

市村	R4 実績	R5 方向性
新潟市	自主的開催（申請団体へ補助）	R4同様（例年）
長岡市	【合併前の地区により異なる】 市直営は中止 各地区コミュニティで開催（委託） （記念品主体の実施あり）	市直営は検討中 各地区コミュニティはR4同様 （例年）
三条市	なし（自治会独自で実施）	なし
加茂市	なし（R元年度事業見直し）	なし
見附市	各地区コミュニティで開催（交付金） （中止した地区もあるが記念品贈呈）	R4同様（例年各地区コミュニティの判断）

2. 見直しにあたっての方向性

このような状況を踏まえ、これから策定する「第9期介護保険事業計画」における人生100年時代に相応しい敬老事業の在り方について検討を進めるとともに、今後、議会への報告を行いながら令和7年度の事業実施を目指したいと考えています。

検討例	「地域の中での支えあい」や「地域力の向上」を図る観点から、地域開催する際の新たな補助制度の創設
	対象者年齢を限定した「人生の節目」を祝福する催しの開催など、新たな形態を構築して開催団体を支援

3. 今年度の対応

新たな敬老事業実施までの暫定的な措置として、コロナ禍による感染リスクへの懸念や物価高騰が続いている状況を踏まえ、市内飲食店等で使用できる「敬老お祝いクーポン」事業として実施させていただくため、補正予算の計上をお願いさせていただくものです。

長年にわたり地域社会の発展に尽力されてきた高齢者の長寿を祝福するにあたり「敬老お祝いクーポン券」を発行します。	
クーポン券	一人あたり1,500円券×1枚を配布
対象者見込み	14,500人（昭和24年4月1日以前に生まれた方）
配布方法	郵送
郵送時期	8月31日から順次発送予定
使用方法	1,500円分の金券として使えます ※おつりは出ません
使用期間	令和5年9月から10月末日まで
使用可能店舗	フェニックスクーポン券（第6弾）取扱店舗

補正事業費内訳	
敬老お祝いクーポン券利用補助金 （1,500円×1枚×14,500人分×92%（利用率））	20,010千円
消耗品費	65千円
印刷製本費	653千円
通信運搬費	1,383千円
燃料費	△30千円
敬老会事業委託料	△5,842千円
運転業務委託料	△263千円
自動車借上料	△548千円
補正事業費合計	15,428千円